

社協だより

143号 令和2年11月発行

社会福祉法人 利島村社会福祉協議会
デイホームさくゆり / ケアプランセンター木春
利島村地域包括支援センター

〒100-0301 東京都利島村 105 番地
電話 04992-9-0018 / FAX 04992-9-0317
E-mail : toshima@violin.ocn.ne.jp

利島村地域包括支援センターでは、島外から様々な専門職を招聘し、住民の皆様の健康増進をサポートしています。

12月のリハビリについてのお知らせ “言語聴覚士”の松木るり子先生が来島します！！

(理学療法士の来島もあります。3頁をご参照ください。)

来島日程：12月8日(火)～12月9日(水) ※要事前予約

ご自宅への訪問相談も行いますので、この機会にお気軽にご相談下さい。

<ご予約・お問い合わせ等>

☎04992-9-0018(利島村地域包括支援センター)



↑松木るり子先生
(言語聴覚士)

< 松木先生から利島のみなさんにメッセージが届きました！ >

言語聴覚士(ST)の松木るり子です。利島を初めて訪れたのは、2017年11月だったので、今年で4年目になります。

言語聴覚士は「言葉」や「食べること」のリハビリテーションの専門家です。皆さん、「サルコペニア」という言葉を聞いたことがありますか？「筋力低下」のことで、食事量や肉や魚などのたんぱく質の摂取量が減ることが原因になります。筋力が低下すると、転倒や骨折の危険性があります。月に1回は体重をはかって、増えすぎや減りすぎに注意をしましょう。硬いものが噛めない、のどにひっかかる、むせるなど食事で気になることがあれば、どうぞ気軽に声をかけてください。よろしくお祈りします。



< 「言語聴覚士」とは… >

ことばによるコミュニケーションに障壁がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。また、摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。ことばによるコミュニケーションの問題は、脳卒中後の失語症、聴覚障害、ことばの発達の遅れ、声や発音の障害など多岐に渡ります。そのため、小児から高齢者が対象となります。

もし、うまく話せない・話を理解できないことや、声が出にくい、上手に噛めない・飲みこめないなどの気になる点があれば、ひとりで悩まず相談してみてくださいね！

ホームページでも情報発信をしています。⇒ <http://toshimamura-csw.main.jp/>

チャイルドシート寄贈事業

5月号より、毎月の社協だよりに住民向けの支援事業について順次詳しい内容を掲載しています。

1. 事業の目的と効果：乳幼児を車両に乗車させて移動する際の安全を守ることを目的として、乳幼児がいらっしゃるご家庭の福利の向上を図ります。
2. 対象者：利島村にお住いの乳幼児(0歳～6歳未満)
3. 価格：10,000円(税込み)を上限とします。
※上限の10,000円を超えるチャイルドシートを購入される場合は10,000円を補助します。
4. 利用方法：①対象者を養育する保護者が申込書を提出する。
②申込者ご自身で購入した場合は、購入後に領収書等の写しを提出してください。
確認後に代金を補助させていただきます。
※当会の買い物サポート事業での購入も可能ですのでご相談ください。
5. 注意事項：①申込みは1世帯1回のみとします。
②本事業を利用して購入したチャイルドシートの転売は、禁止します。

利島内でも、安全に配慮した移動を心がけましょう！

＜お問い合わせ＞利島村社協事務局 ☎ 04992-9-0018



デイホームさくゆり職員の勉強会実施報告



←資料を基に勉強
をしている様子

令和2年10月23日(金)に通所介護事業の職員で、勉強会を開きました。今回の勉強内容としては、まず褥瘡予防に取り組む方法として、ポジショニング(クッションなどを使い、身体の相対的な位置関係を設定し、目的に適した姿勢を安全かつ快適に保持すること)の方法について学びました。又、誤嚥性肺炎の罹患リスク軽減のため、とろみ剤を使用すると液体がどう飲みやすくなるのか、実際に作ってみるなどして、改めて学びなおしました。

2つのツールについて学ぶなかで、ご利用者様の過ごし方や特性を踏まえ、どう応用させたらいいかなど、職員同士で話し合いながら勉強することが出来ました。

最近では、職員皆で勉強する機会をつくらなかったもので、意見交換をしながら、ご利用者様の日常生活を応援していく思いの丈を、改めて職員と振り返られたのかなと思います。介護現場ですべての危険因子を除くことは難しいですが、ご利用者様の個別な特性に合わせて、今回学んだポジショニングやとろみ剤などを使って、褥瘡や誤嚥性肺炎等のリスク軽減を目指していきたいと考えています！



とろみを実際に作っている様子
(この後、固さ等の味見をしました！)

デイホームさくゆり 佐藤

『利島村地域包括支援センター』からのお知らせです

12月分 大島の白井理学療法士による 個別リハビリ 予約受付中！

お1人様約20分間の予約制 住宅改修や福祉用具に関する相談もOK、お気軽にどうぞ！

12月14日(月) ①15:00-15:20 ②15:30-15:50 ③16:00-16:20 ④16:30-16:50

⑤17:00-17:20 ⑥17:30-17:50 ⑦18:00-18:20

12月15日(火) ⑧9:00-9:20 ⑨9:30-9:50 ⑩10:00-10:20

無料

以上の時間(①～⑩)よりご予約下さい。

予約受付 ☎04992-9-0018 (担当:三田)

* 悪天候や感染症対策等で中止となった場合は、
村内放送等で中止の連絡をいたします。



肩や腰、膝などの
痛みを取り、自分
でできるリハビリ
法を伝授します。

感染症の拡大防止のため、原則として施術は居宅を訪問して実施させていただきます。

赤い羽根共同募金実績報告

ご協力ありがとうございました！ ～赤い羽根共同募金～

利島村内の赤い羽根共同募金が10月31日で終了しましたので、実績をご報告いたします。集まった募金は大島地区協力会(東京都大島支庁)を通じて東京都共同募金会に送らせていただきます。

皆様のご協力に感謝いたします。本当に有難うございました。

①職域募金(8団体)	63,893 円
②募金箱(4か所)	29,728 円
③社協事務所での受付	10,000 円
合計	103,621 円

愛ちゃんと希望くん



コロナに負けずご協力いただき、
本当に本当にありがとうございました！

歳末たすけあい募金協力依頼

協働で創る利島のふくし ～歳末たすけあい募金にご協力ください～

12月1日より、年末恒例の歳末たすけあい募金が全国ではじまります。この募金は都道府県共同募金会が主催し、区市町村社会福祉協議会が実施します。利島村内でいただいた募金はいったん都共募に送金しますが、赤い羽根共同募金とは仕組みが異なり、来年度全額が利島村社協に配分されます。当社協では赤い羽根共同募金の配分と同じく、高齢者や障がい者の理髪事業及び排泄補助用品等購入代金助成事業などで使用する予定です。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

※今年度の募金実施方法は、感染症対策のために赤い羽根共同募金と同様に以下の対応とします。

- 個人宅への戸別訪問は行いません(領収書が必要な方は社協事務所にて個別に受け付けています)
- 職場での募金にご協力をお願いします(職場へは社協の担当職員が個別でお願いにうかがいます)
- 募金箱を役場・郵便局・農協・社協に設置します！(募金へのご協力をお願いします)

デイホームさくゆり だより

10月の創作活動

柿の形に紙を切る作業から始めます！



柿はスズランテープで巻いて、切っておいた葉を貼って完成(‘◇’)♪



折り紙でブドウも
作りました！



背景に、秋らしく銀杏を散らしました！



椿の実の選別



今年は、道椿も沢山落ちていますね！

ドライブ



なかなか行けなかったドライブ！
やっと行けましたね！

山と海に
囲まれた
利島、空が広い！



< 職員募集 >

利島村社協では、通所介護やホームヘルプで活動の補助や見守りをしていただけの方を求めています。
1～3時間程度の短時間でもかまいません。

賃金 初任者研修修了者 時給 1,300円
介護福祉士 時給 1,500円
上記資格のない方 時給 1,150円～

※関心のある方は、社協(担当:桑村)迄ご連絡ください！

< 編集後記 >

今年度は、利島村社協にとっても新しい募金形態での実施が求められました。募金箱を設置させて頂いた団体、職場等での募金にご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。あと2か月色々ありますが、気持ちよく年末を迎えられるよう残りの月日を過ごしていきましょう！ 佐藤